

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月3日

【評価実施概要】

事業所番号	2774500447		
法人名	社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会		
事業所名	泉ヶ丘園グループホーム		
所在地	大阪府泉佐野市日根野5565-136 (電話) 072-467-2160		
評価機関名	特定非営利活動法人カリア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成21年11月26日	評価確定日	

【情報提供票より】(平成21年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	8 人	常勤 5人, 非常勤 3人, 常勤換算	7.7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	3 階建ての	1階2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無(円)	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	200 円	昼食	550 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要()

利用者人数	17 名	男性	0 名	女性	17 名
要介護1	0	要介護2	7		
要介護3	5	要介護4	4		
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 85.6 歳	最低	75 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	永山病院 佐野記念病院 大野歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの横に川が流れ、桜並木やイチヨウなどの木々があり、四季を通して季節を感じながら、ゆったりとした気分で過ごせる雰囲気がありました。また、農園で野菜や花の栽培を入居者と職員が一緒にされ、食卓に収穫した野菜が出る事も日常的に行われていました。ホームの運営についても、母体法人は、高齢・障害者・児童など多様なサービスを総合的に展開され、地域への働きかけなども積極的に行われています。長年培われたノウハウをグループホームでも活かし取り組まれていると感じました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	法人の機関誌以外で、ホーム便り的なものの発行を検討との事でしたが、面会時やご家族の参加する行事等で、個別に報告等をされていました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員の意見を聞きながら、改善や取り組みをされていました。また、運営推進会議等で、外部評価の報告等をされサービス向上に向け取り組まれていました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議で、日ごろのホームの様子や取り組んでいる事を話し合われ、意見交換が行われています。また、法人で得た情報を提供するなど、一体的に取り組まれていました。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族が参加される行事や、面会、また家族会でご家族が来られる時、職員は積極的に関わり、意見を聞くなどコミュニケーションを図り入居者へのサービス向上に取り組んでいました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の方が参加出来るバザーや介護教室などを主催されたり、自治会へ参加されるなど日頃より地域の方との交流が盛んに行われています。また、市内のグループホームや地域密着型サービスの協議会にも積極的に参加され、地域福祉の推進に尽力していました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	和（すこやか・ゆたかに・なごやかに・あんしん・いたわり・やさしさ）の理念の下、利用者の人格・人権を尊重します。サービスに利用者の意思を尊重します。健康・安心・豊かなサービスを提供し、抑制の無いやさしい介護をめざします。を方針として取り組まれ、入居者それぞれの生活が送れる様配慮されていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の名札に理念を入れ、就業前に必ず目を通し共有していました。また、日々の取り組みも、理念に基づき、その人らしい生活が送れる様配慮されていました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	同一法人が一体となり、夏祭り・バザーなどの行事や、太極拳などの介護予防教室が行われています。また、敷地内にある温泉のお誘いなど、地域の方との交流を積極的に行っていました。デイサービスの方や、保育園児との交流も日常的に行われていました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の結果について、職員間で意見交換をしながら検討し、出来る事から改善に取り組まれていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、町内会、ご家族、行政が参加され、行事や取り組みの報告を行い、意見を聞きサービス向上に向けて取り組まれていました。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム運営協議会に参加しています、市町村担当者も参加されているので、地域のグループホームに対する方向性や意見を聞きながら取り組んでいます。また、地域密着型事業者連絡協議会にも参加し、行政と連携をもっていました。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に話をしたり、面会が遠のいておられる方には電話にて報告されたり、個々に対応されていました。		ケアプランの同意やご家族のアンケートから、連絡をこまめにされている事が伺え、報告の事実が確認できましたが、どの様な要件や内容だったのかなど、何らか記録を残す事で、ホームの取り組んでいる事が、第三者からも評価されると思います。また、振り返りや対応の確認などの役に立つと感じました。一度ご検討してみてくださいは如何でしょうか？
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置。また、苦情受付担当者や外部機関の連絡先などを明示されていました。また、個々に直接言われる方もおられ、その都度対応され、運営に反映出来るものは活かす様尽力されていました。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者の特徴を記入した書類を作成され、異動があった場合、職員が早く個々の特徴をつかめる様工夫されていました。また、同一法人内の他部署の職員も常日ごろから関わりを持ち、入居者へのダメージを防ぐ配慮がされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回グループホーム内研修や年4回法人内研修があり、外部研修にも積極的に参加していました。また、伝達研修も行い、職員の資質向上に努めていました。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会や、市内の地域密着型サービス事業者連絡協議会などで、同業者と交流を深めておられます。また、認知症研修などの研修会を開催し、サービス向上に尽力されていました。		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所は基本的には可能。また、同一法人のデイサービスやショートステイ利用者との交流を行い、普段から馴染みの関係作りを意識していました。また、次期入居者の見学時には雰囲気を味わって頂ける様、十分時間を設け対応していました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	漬物作り、食事作りや園芸など、職員と一緒にやる事で、入居者と職員が一体となって作業し、共に支えあう関係作りが行われていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に生活習慣や希望要望を聞き、ご本人の望む生活が送れ、個々のペースで過ごせる様、配慮されていました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画を作成し、6か月に1回は見直しを行っていました。また、状態の変化に応じて、ケース会議やモニタリングから介護計画を変更し、利用者の状態にあわせた介護計画を作成していました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回カンファレンスを行い、入居者の状態に合わせた介護の確認や見直しが計画的に行われていました。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同一法人の行事に参加したり、園芸活動等、個々の趣味や興味のあるものに参加されたり、柔軟に対応されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	月に1回内科・神経内科の診察があります。また、希望により元々のかかりつけ医への受診も可能で、急変時には付き添い等、ご家族と相談の上、行われていました。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	状況の変化やご家族の希望に応じ、ホームで出来る範囲内で取り組まれていました。また、部署会議で終末期ケアについて話し合いを持ち方針を共有されていました。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	施設内でプライバシーや人権に関する研修が行われていました。また、個人情報の管理も徹底されていました。外部には、入居者の生活に配慮し、一般の見学(次期入居者を除く)を控え安心して生活できる様取り組んでおられました。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	日々、日課や行事が予定されていますが、入居者個々の体調や趣味趣向に配慮し、個々のペースに合わせ支援をされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に調理や盛り付け、後片付けをされていました。また、家庭菜園で収穫した野菜など、一品増やすなど食事を楽しめる様工夫されていました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に午後からの入浴ですが、個々のニーズやタイミングに合わせいつでも入浴出来る様配慮されていました。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居時に生活歴や、趣味などを聞き、ホーム内で有意義に過ごして頂ける様配慮されました。また、「あなたの出番」と言う用紙を作成し、希望や興味の示す事などがあれば追加記入し、充実した生活を送れる様対応されていました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や、近くの神社や公園への散歩などに出かけておられました。また、園芸や、同一法人の行事などでホームから戸外へ出る機会が多くありました。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関は施錠されていません。門扉は防犯上施錠していますが、インターホンがありました。また、職員やご家族は暗証番号で出入りが自由にできました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	火災・地震等避難訓練を消防署の立ち会いで法人全体での訓練とホームでの訓練を実施し、防災意識を高めておられました。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	栄養士、看護師と相談しながら対応していました。水分摂取は1日に1500cc摂取を目途に取り組みされていました。また、食事や水分が少なくなっている様であれば、湯飲みや食器を変えたり工夫しながら対応されていました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共有スペースは季節に応じて花が飾られていました。また、入居者の作った作品や行事の写真が違和感なく展示や掲示がされており、空間づくりに工夫されていました。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	元々使い慣れた物や趣味の道具などを部屋に置いてあり、居心地良く過ごせる様配慮がされていました。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。